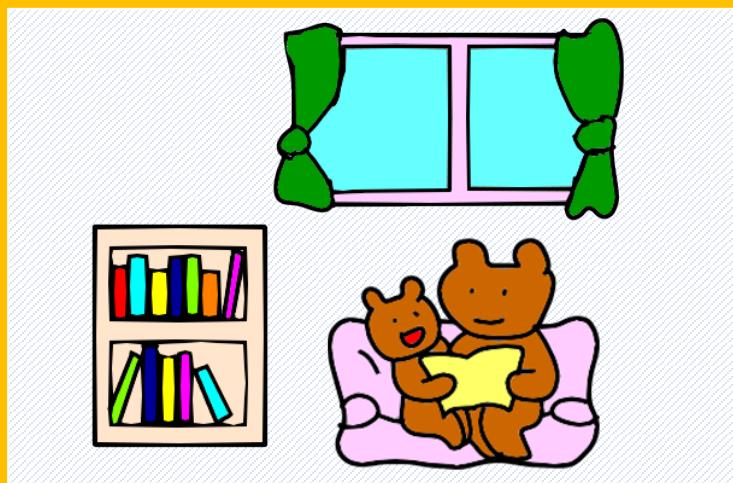


あうちでいっしょに 楽しむ絵本

3歳からのブックリスト



横浜市立図書館

読み聞かせ Q & A

子どもは、絵本の読み聞かせが大好きです。なぜなら、大好きな大人といっしょに、楽しいことや知らないことがいっぱいいつまっている世界を味わうことができるからです。

読み聞かせは、親子のコミュニケーションの時間です。子どもに質問をしたり、感想を求めたりせず、子どもといっしょに絵本をまるごと楽しみましょう。

Q

本を読む時は、どんな姿勢がよいのでしょうか



A

いつでも、どこでも楽しめるのが、本のよいところ。子どもを膝の上にのせてあげても、隣に寄り添っても、子どもがリラックスして聞けるのであれば、どんな姿勢でも構いません。



Q

読み聞かせをしていても、聞いてくれません



A

読み聞かせをしていても、おとなしく聞いてくれないことがあります。
でも、大丈夫。聞いていないように見えて、子どもは本を楽しんでいます。
あまり気にせず、読み聞かせを続けてみてください。

ただし、子どもがほかのこと気にとられているようであれば、読み聞かせは次の機会にした方がよいでしょう。

Q

いつも決まった本しか読みたがりません



A

子どもは好きな本をくり返し読んでもらいたがります。子どもは本の中の変わらない世界に安心していますので、「もういい」と言うまでは、読み聞かせを続けてあげてください。

Q

本を読んでいると次々ページをめくってしまいます

**A**

本を読んでいる途中でも、次々ページをめくつてしまったり、本をバタンとじてしまつたりすることがあります。それでも心配することはありません。少しづつ読み聞かせに慣れていけば、本をじっくりと楽しめるようになります。

あまり聞いていないようでしたら、子どもにおはなし会が難しすぎるのかもしれません。途中でやめて、ほかの本を読みましょう。

Q

何歳まで本を読んであげればよいのでしょうか

**A**

本の読み聞かせは、子どもが文字を読む訓練ではありません。たとえ文字が読めるようになったとしても、文章を読んで内容を理解するようになるには、時間がかかります。子どもが「自分で読む」というまでは、絵本や物語を読んで聞かせてあげてください。

**Q**

どんな本から読み聞かせを始めたらいよのでしょうか

A

まずは、このリストにある本から、子どもといっしょに楽しんでください。

また、図書館では、いろいろな絵本の読み聞かせをする、おはなし会を行っています。子どもたちが、知らない本に出会うきっかけになるかもしれません。ぜひご参加ください。

図書館には、「児童書研究コーナー」もあり、読み聞かせに参考になる本もあります。図書館の窓口でもご相談ください。

読み聞かせについてもっと知りたいときは…

■『ぼくの絵本わたしの絵本 0歳から6歳までの絵本ガイド』

石川道子・平田美恵子・湯沢朱実／編著 プランニング遊

→年齢別に本を紹介しています。子どもがどのように本を楽しむのかわかります。

■『絵本はともだち』中村恵子／著 福音館書店

→保育園で絵本の読み聞かせをしてきた著者による実例集。ブック・リスト付き。

■『子どもの育ちを支える絵本』脇明子／編著 岩波書店

→なぜ子どもに絵本を読むのか、またどのように読むのかが書かれています。

ほかにもいろいろあります。くわしくは図書館でおたずねください。

3～4歳



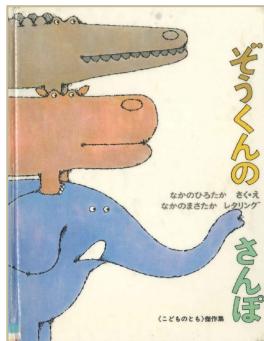
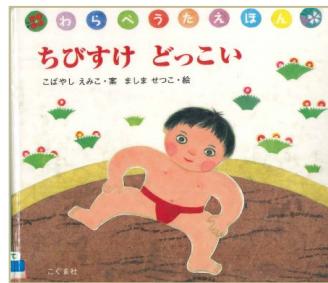
3～4歳の子どもは、好奇心が旺盛。見るもの、聞くものが新鮮で、何でも試してみたくなる頃です。ごっこ遊びが好きになるこの時期は、主人公になりきって絵本をまるごと楽しめます。ストーリー運びが簡単で、結末が安心できる絵本を読みましょう。

ちびすけどっこい

シリーズ

こばやしえみこ／案 ましませつこ／絵
こぐま社

「ちびすけどっこい はだかでっこい ふん
どしかついで はだかでっこい」。わらべうた
のリズミカルな言葉を、子どもとスキンシ
ップをとりながら楽しみましょう。



ぞうくんのさんぽ

シリーズ

なかのひろたか／さく・え なかのまさたか／レタリング
福音館書店

さんぽにでかけたぞうくんは、おともだち
のかばくんや わにくんたちを どんどんせ
なかにのせていきます。ぞうくんは とても
ちからもち。ところが、ぞうくんは、あま
りのおもさに たえられず…。

ねずみのいえさがし

シリーズ

ヘレン・ピアス／さく まつおかきょうこ／やく
童話屋

ねずみが いえをさがしています。うえきば
ちは、さむすぎるし、ストーブのまえでは
あつすぎます。ぴったりの いえは見つかる
かな？ 写真を使った絵本です。



だいくとおにろく

松居直／再話 赤羽末吉／画
福音館書店

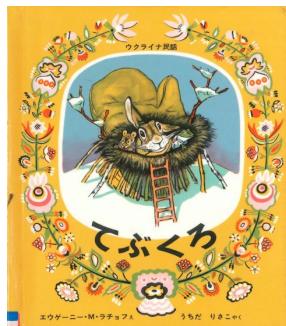
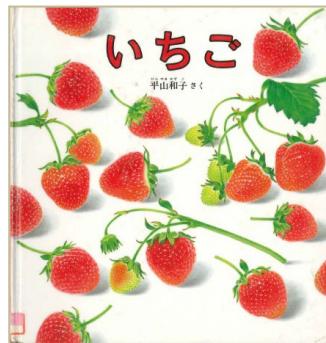


「おまえの目玉よこしたら、おれが おまえにかわって、その橋かけてやってもええぞ。」とおにに言われた だいく。目玉を取られないために、だいくは、おにの名前を当てなければなりません。

いちご

平山和子／さく 福音館書店

「あたたかくなったよ。いちごはまだ？」
寒い冬をこえて、いちごが少しずつ育っていく様子が、色鮮やかに描かれています。
おいしそうないちごの絵に、思わず手をのばしたくなります。



てぶくろ

エウゲーニー・M. ラチョフ／え うちだりさこ／やく
福音館書店

おじいさんがおとしていった てぶくろ。くいしんぼねずみに ぴょんぴょんがえる、はやあしうさぎなど、たくさんの動物が「いれて」とやってきます。てぶくろは、いまにも はちきれそう。ウクライナの民話です。

ティツチ

シリーズ

パット・ハッテンス／著 石井桃子／訳
福音館書店

三人きょうだいのすえっ子のティツチが、もっているものは 小さいものばかり。でも、そんなティツチがうえた小さいたねは、ぐんぐん育って きょうだいのだれよりも大きくなりました。

ティツチ

パット・ハッテンス さくえ
いしい ももこ やく



おやすみなさいおつきさま

マーガレット・ワイス・ブラウン／さく
クレメント・ハード／え せたていじ／やく 評論社

こうさぎがぱっちりと目をあけたまま、ベッドに入っています。へやの中のもの、一つ一つにおやすみなさいとよびかけていくうちに、いつのまにかねむりにつきました。
おやすみの前にどうぞ。



はらぺこあおむし

エリック・カール／さく もりひさし／訳
偕成社

うまれたばかりのあおむしは、おなかが
ぺっこぺこ。あおむしがたべたのは、りん
ごになしに、すももに いちご、ほかにも
たくさん！ 穴が開いているしかけも、子
どもに人気です。

みんなうんち

五味太郎／さく 福音館書店

おおきいぞうは おおきいうんち。ちいさい
ねずみは ちいさいうんち。とまって うん
ち。あるきながら うんち。いろんな どう
ぶつ いろんな うんち。みんな うんちをす
るんだね。

みんなうんち

去珠太郎 さく



わたしのワンピース

にしまきかやこ／え・ぶん こぐま社

空からおちてきた まっしろな きれで、ワン
ピースをつくりました。ラララン ロロロン
にあうかしら？ ふしぎなワンピースは 花
もようや水玉もようと 次々にもようが変
わっていきます。

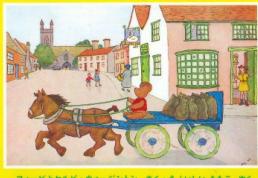
せきたんやのくまさん

シリーズ

フィービとセルビ・ウォージントン／著
いしいももこ／やく 福音館書店

せきたんやのくまさんは、にばしゃにのって、せきたんをはいたつします。どかん！ どかん！ と せきたんをおいて、「200 円いただきます。」といいました。はたらきもののかまさんの一日です。

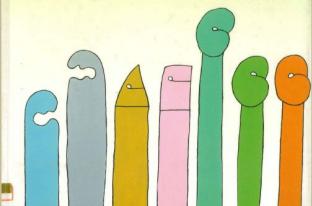
せきたんやのくまさん



フィービとセルビ・ウォージントン 著
いしいももこ やく 福音館書店

もけら もけら

苗羽翠・山川 著
英美美里・大曾根和子 絵
福音館書店



もけらもけら

山下洋輔／ぶん 元永定正／え
福音館書店

とってもへんてこな絵と、「もけら もけら
ぱたら ペたら ぴた」といった独特なリズム
のある言葉が、不思議によく合っています。
気楽に言葉の響きを楽しんでください。

もりのなか

シリーズ

マリー・ホール・エツツ／ぶん・え まさきるりこ／やく
福音館書店

ぼくは、かみのぼうしをかぶり、あたらしい
らっぽをもって、さんぽでかけました。す
ると、もりのなかのどうぶつたちが、ぼくの
さんぽについてきました。モノクロの静かな
絵本です。

もりのなか



マリー・ホール・エツツ／ぶん・え まさきるりこ／やく
福音館書店

三びきのやぎのがらがらどん

ノルウェーの童話

マーシャ・ブラウン／え せたていじ／やく
福音館書店



三びきのやぎのがらがらどん

マーシャ・ブラウン／え せたついじ／やく
福音館書店

むかし、あるところに 三びきのやぎがいまし
た。なまえはどれも、がらがらどん といいま
した。「お前を食べてやる」という、おそろし
いトロルを前に、やぎたちはどう切り抜けるの
でしょうか。

※こちらでご紹介した絵本は図書館にあります。

4～5歳



4～5歳の子どもは、社会生活や友達関係が築かれ、生活範囲からちょっと離れたことにでも、興味関心が広がります。

また、自分の好みがはっきりして、好きな絵本を楽しむようになります。お気に入りの絵本が見つかったら、くり返し読みましょう。ちょっと長めの絵本も楽しめるようになります。

どろんこハリー

シリーズ

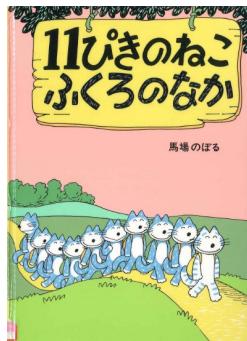
ジーン・ジョン／文 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵
渡辺茂男／訳 福音館書店

くろいぶちのある しろい犬のハリーは、おふろがだいきらい。そんなハリーが、どろんこになり、しろいぶちのある くろい犬になりました。かぞくはだれもハリーだとは きづきません。さあ、たいへん。

どろんこハリー



ジーン・ジョン 文
マーガレット・ブロイ・グレアム 絵
わたなべ しげお やく



11 ぴきのねこふくろのなか

馬場のぼる／著 こぐま社

11 ぴきのねこは、えんそくにでかけました。道のたてふだの「してはいけないこと」をしていき、「ふくろにはいるな」とかいである おおきなふくろにも入りました。するとふくろの口がとじられて…。大人気シリーズの1冊。

くいしんぼうのはなこさん

石井桃子／文 中谷千代子／絵
福音館書店

うしのはなこは、わがままほうだいで なんでもひとりじめ。ある日、おいもと かぼちゃをたべて、はなこのからだは、ふうせんのようにふくれあがります。ユーモラスな結末に、思わず笑顔がこぼれます。

くいしんぼうのはなこさん

いしい らむこ ぶん／なかたに ちよこ 絵



いたずらこねこ



バーナディン・クック／文・絵 レミイ・シャーリップ／え
まさきるりこ／やく 福音館書店

いたずらこねこ

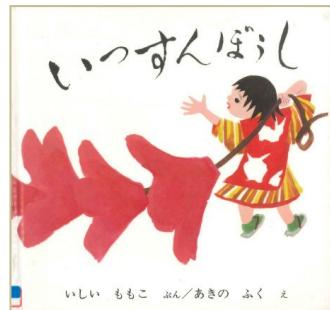
バーナディン・クック／文・絵 レミイ・シャーリップ／え
まさきるりこ／やく 福音館書店

はじめてかめをみた こねこ。まえあしで、
かめのあたまを ポンとたたくと、くびが
きました。もういちどたたくと、足が き
えてなくなりました。こねこは びっくりぎ
ょうてん。

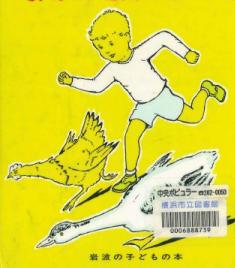
いっすんぼうし

いしいももこ／文 あきのふく／え
福音館書店

てのゆびほど ちいさい いっすんぼうし。
「わたしは みやこにのぼって、ひとはたら
き してこようと おもいます。」 おわんを
かさにし、はしをつえにし、はりをかたな
にして、でかけていきました。



おかあさんだいすき



岩波の子どもの本

おかあさんだいすき

マージョリー・ブラック／文・絵 光吉夏弥／訳・編
岩波書店

きょうは、ダニーのおかあさんの たんじょ
う日です。ダニーは、おかあさんに あげる
ものを みつけにでかけました。さて、ダニ
ーの おりものとは？ ダニーのまっすぐ
で優しい気持ちが伝わってきます。

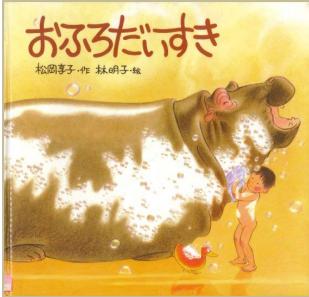
キャベツくん

シリーズ

長新太／文・絵 文研出版

おなかをすかしたブタヤマさんが、キャベ
ツくんをつかみました。キャベツくんが
「ぼくをたべるとキャベツになるよ」とい
いました。「ブキャ！」とブタヤマさんは、
びっくりしてしまいます。2人のナンセン
スなやりとりを楽しんでください。





おふろだいすき

松岡享子／作 林明子／絵
福音館書店

まこちゃんは、いつも あひるのプッカをつ
れて おふろにはいります。ある日、おふろ
のそこから、おおきなかめが ざーっと
ういてきました。そして、ペンギンやオッ
トセイまであらわれて…。

おおかみと七ひきのこやぎ

フェリクス・ホフマン／え グリム／原作
せたていじ／やく 福音館書店

おかあさんやぎのるすに、おおかみが こや
ぎたちを食べようとやってきます。ハラハ
ラしながら聞いていた子どもも、最後には
ほっと胸をなでおろします。グリムの昔話
です。



しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男／さく 山本忠敬／え
福音館書店

じぶたは ちびっこしょうぼうしゃです。は
たらきものですが、なかなかしゅつどうさ
せてもらえません。そんなあるとき、山か
じがおきました。いよいよ じぶたのでばん
です。

すてきな三にんぐみ

トミー=アングラー／さく いまえよしとも／やく
偕成社

くろマントに、くろいぼうしの三にんぐみ。
それはそれは、こわいどころぼうです。う
ぱった たからは、さあどうする？ 三にん
ぐみが考えた宝の使い道には、だれもが納
得です。





ぼく、だんごむし

得田之久／ぶん たかはしきよし／え
福音館書店

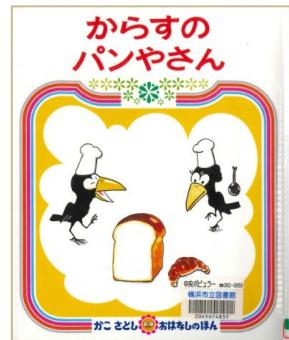
だんごむしは何をたべるの？ くるっと丸まるのはなぜ？ 身近な生き物のだんごむしの生態が、小さな子どもに分かりやすく書かれています。物語が苦手な子どもにもおすすめです。

からすのパンやさん

シリーズ

加古里子／絵・文
偕成社

からすのパンやさんは、赤ちゃんが生まれて、おおいそがし。おきやくさんがすっかりへってしまいました。そこで、みんなでかんがえて、すてきなパンをつくります。いちごパンにきつねパン、テレビパンに はぶらしパン！？



こすずめのぼうけん

ルース・エインワース／作 石井桃子／訳
堀内誠一／画 福音館書店

はじめてそらをとんだ こすずめは、とおくまでて はねが いたくなってしましました。どこかでやすもうと、いろいろなとりの巣をたずねますが、どのとりも巣に入れてくれません。



ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ／ぶん・え とくながやすもと／やく
福音館書店

ラチは、よわむしな男の子。ある日らいおんがあらわれて、ラチをつよくしてやるというのです。さっそく、ラチの修行が始まりました。まずは「いち にっ さん！」ふたりで体操です。



5～6歳



5～6歳になると、自分一人でできることが増え、自立心が芽生えてきます。創作絵本や昔話だけではなく、知的好奇心を満たす科学絵本や、言葉遊びの絵本など、さまざまなタイプの絵本を楽しめるようになります。また、絵本だけではなく、物語も読んで聞かせてあげましょう。

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック／著 神宮輝夫／訳
富山房

おかあさんにしかられ、しんしつに入れられたマックス。すると、へやに木がはえ出し、ふねがあらわれた。1年と1日こうかいすると、たどりついたのは、かいじゅうたちのいるところ。

かいじゅうたちのいるところ



モーリス・センダックさく じんぐうてるお やく



かにむかし

木下順二／文 清水崑／絵 岩波書店

かにの こどもたちが、おやがにの あだうちにむかいます。ぱんぱんぐりにはちや、うしのふん、ぼうに 石うすが なかまになって、がしゃがしゃと 歩いていきました。さるかに合戦で知られる日本の昔話です。

くんちゃんのだいりょこう

ドロシー・マリノ／文・絵 石井桃子／訳
岩波書店

そろそろふゆごもりのきせつ。子ぐまのくんちゃんは、鳥といっしょにみんなのくにへ行こうとします。わすれものを取りになんどももどるくんちゃんを、おかあさんぐまと おとうさんぐまは、優しく見守ります。

シリーズ



ちいさいおうち

バージニア・リー・バートン／文・絵
石井桃子／訳 岩波書店

静かな田舎にある小さいおうち。時が経ち、周りの景色は少しずつ変わり、やがてビルに囲まれましたが、おうちは変わらずそこに建っています。出版から50年以上経っても愛され続けているロングセラー絵本。



げんきなマドレーヌ

シリーズ

ルドヴィッヒ・ベーメルマンス／作・画
瀬田貞二／訳 福音館書店

パリのふるいやしきに、12人の女の子がくらしています。いちばんおちびさんのマドレーヌは、こわいものなし。そんなマドレーヌが、しゅじゅつをすることになりました。

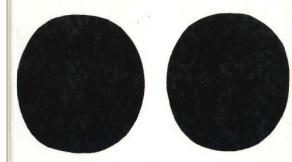
はなのあのはなし

やぎゅうげんいちろう／さく 福音館書店

ぼくたちは、はなのあながらいきをする。はなのあながつまると、においがわからなくなる。はなのあの役目やしくみを、ユーモアたっぷりに説明しています。はなのあなをしっかりとふくらまして読んでください。

はなのあのはなし

やぎゅう げんいちろう さく



ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ／さく・え おのでらゆりこ／やく
福音館書店

ペレは、こひつじをもっていました。こひつじの毛をかりとり、おばあちゃんに、すいてもらうかわりに、くさとりをしました。つぎは、もうひとりのおばあちゃんのおてつだい。だんだん服が仕上がっていきます。

ひとまねこざる

シリーズ

H. A. レイ／文・絵 光吉夏弥／訳
岩波書店

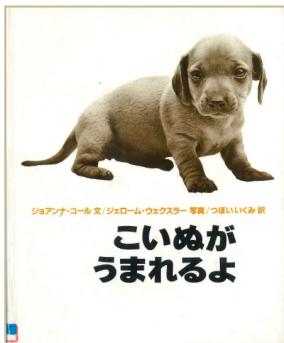
こざるのジョージは、しりたがりや。じぶんをつれてきた きいろいろうしの おじさんをさがしに、どうぶつえんのかぎをぬすんで まちにでます。いたずらジョージは、子どもそのもの。シリーズのほかの本もご一緒にどうぞ。

大型絵本

ひとまねこざる



H.A.レイ文・絵 光吉夏弥訳
岩波書店



こいぬが生まれるよ

こいぬが生まれるよ

ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスター

写真 つぼいいくみ／訳 福音館書店
「おとなりの いぬに あかちゃんが 生まれるの。いっぴき わたしが もらうんだ！
ああ、まちきれない！」 こいぬが生まれ、
一人立ちするまでの様子を、女の子の目を通して描いた写真絵本です。

わにがわになる

多田ヒロシ／著 こぐま社

「いるかは いるかい」「ねこが ねころぶ」など、楽しい文章とユーモラスな絵がぴったり合った絵本です。子どもと一緒に、ことばとリズムを楽しみましょう。



まほうのコップ



まほうのコップ

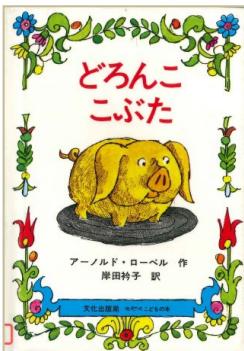
藤田千枝／原案 川島敏生／写真
長谷川摶子／文 福音館書店

たねもしかけもありません。ただのコップに ただのみず。でも、コップのうしろに、いちごやフォークをおくと、どうなるでしょう？ 読んだ後は、おうちのテーブルで、まほうをお試しください。

あおい目のこねこ

エゴン・マチーセン／さく・え
福音館書店

あおい目の元気なこねこが おりました。あるとき、ねずみのくにを見つけてかけました。なにしろ、ねずみのくにを見つたら、もうおなかをすかすことが、ありませんもの。



どろんここぶた

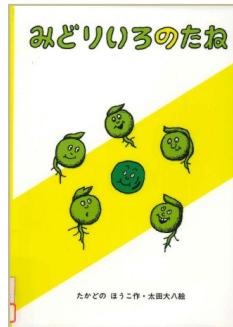
アーノルド・ローベル／作 岸田衿子／訳
文化出版局

ある日、おひやくしょうの おばさんが、ぶたごやを おおそうじ しました。どろんこがだいすきな こぶたは、ぴかぴかにされて、おこりました。うちをにげ出した こぶたの冒険が始まります。

みどりいろのたね

たかどの ほうこ／作 太田大八／絵
福音館書店

まあちゃんは、たねと いっしょに メロンあじのあめを はたけにまきました。すると、土の中で、たねたちとあめが けんかをはじめます。たねは きちんとそだつでしょうか？



けんた・うさぎ

中川李枝子／さく 山脇百合子／え
のら書店

けんた・うさぎは、げんきな男の子。お父さんのまねをしたり、言つてることと あべこべのことを行ったりと、ゆかいな毎日をすごします。子どもの日常を描いた物語です。

※こちらでご紹介した絵本は図書館にあります。

子どものみんな図書館にきてね

子ども向けイベント

図書館では、わらべうたや絵本のよみきかせなどのイベントを行っています。

ぜひ遊びに来てください。

詳しいイベント案内は、図書館ホームページへ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/lib-event/>



利用案内

0歳の赤ちゃんから、図書館カードが作れます。



1枚のカードで10冊まで、2週間(14開館日)本を借りることができます。

詳しい利用案内は、図書館ホームページへ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/guide/>

開館時間

火～金曜日…9：30～19：00

※中央図書館・山内図書館は20：30まで

土・日・月・祝日…9：30～17：00

※年末年始は開館時間が変わります。

その他の休館日など、詳しくは図書館ホームページへ

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/library_calendar.html



のげやま子ども図書館おやこフロア

「絵本とはじめて出会う場所」として、未就学児と保護者の方が利用できるフロアです。

読み聞かせやおしゃべりなど、思い思いに楽しんで♪授乳室や飲食できるエリアもあります。

※横浜市中央図書館にあります。

詳しい利用案内は、図書館ホームページへ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/tshokan/central/oyako.html>

平成28年6月発行 令和7年10月改訂

横浜市中央図書館サービス課／編集・発行

〒220-0032 横浜市西区老松町1 電話 045(262)0050